

アド・ネット 特別号

島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会
平成26(2014)年2月発行

第3回(H25年度)島根県 青少年育成アドバイザー 養成講座 開催

平成26年1月25日(土)～26日(日)の1泊2日、島根県立青少年の家「サン・レイク」にて、3回目となる「島根県青少年育成アドバイザー養成講座」を島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会の主催、青少年育成島根県民会議の後援で行いました。



この講座は、青少年の発達過程を理解し、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を学び、資質・能力の向上を図り、地域における各種活動の推進者や指導者として、各種事業に積極的に参画する人材を育成するために実施しました。

また、現役青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。当日は、講師や現役アドバイザーを含め、17名の参加がありました。



1月25日(土)は、開講式に引き続き、講義Ⅰ「青少年育成とアドバイザーの役割」と題して、島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会の福田悟会長を講師に、青少年育成についての基本的な考え方やねらい、青少年育成アドバイザーの役割などについて学びました。若い指導者の育成やコミュニケーション、自然体験による五感の一致や親子の絆づくりの大切さについて再確認できました。



講義Ⅱは「青少年育成に関わる行政や法令」と題して、青少年育成島根県民会議の川岡浩之次長を講師に、青少年や青少年育成に関わる行政や法令等について学びました。インターネットの普及による問題点や若者が抱えている困難の多様化などについて事例を交えてお話しいただきました。



演習Ⅰでは、「青少年の理解(相談・助言)」と題して、島根学校相談学会の藤原寛理事を講師に、相談・助言の目的と方法の基本や心構え、効果的な相談・助言(カウンセリング)の基礎についての講義・演習を行いました。自分の枠で判断せず、目の前にいる相手(子ども)の思いに応えることの大切さを体験的に学びました。



講義Ⅲでは、全日本青少年育成アドバイザー連合会の谷本治副会長を講師に、愛媛県での活動を中心に事例を通して学びました。アドバイザーの発足経緯や研修、映画上映などの活動について知ることができました。

また夜は、情報交換会を行い、福田会長の手作り料理などをいただきながら青少年育成活動について熱く語り合い、絆を深めました。



1月26日(日)の実践紹介では、島根県青少年育成アドバイザー1期生として認定された加藤光治を講師に「あいサポーター研修」を行いました。講話やDVD視聴を通して、「障がいを知り、共に生きる」あいサポート運動について知り、「サポーター宣言」に則り活動することを誓いました。



演習Ⅱは「仲間づくりに役立つレクリエーション」と題して、県青少年育成アドバイザー連絡協議会の岩元敏子を講師に、青少年の仲間づくりに役立つレクリエーションの実際について学びました。グループワークトレーニングの手法を楽しく体験しながら研修しました。



講義Ⅳは「青少年のネットトラブルの現状」と題して、島根県警察本部 少女女性対策課の吾郷利孝さんに具体的な事例を通してお話いただきました。インターネットによるトラブルや巧妙な出会い系サイトの実態、フィルタリングの必要性、サイバー補導の現状など、事例にもとづくお話とスマートフォンによる実演など、大変参考になりました。



演習Ⅲは「ワークショップ体験」と題して、県青少年育成アドバイザー連絡協議会の原史行を講師に、「ネット依存にならないようにどうしたらよいか」について、ワークショップ(ワールドカフェ)形式で考えていきました。



今回の講座は、専門的な外部講師と各分野で活躍している現役青少年育成アドバイザーの人材活用がうまくマッチし、内容的には充実した研修となりました。特に、今日的課題である「ネットトラブル」について、集中的に研修できたことは、意義深いと思われれます。しかし、3回目を終え、一般参加者の減少が見られますので、参加者の募集・広報などについて、来年度第4回の講座実施に向けて更に検討していきたいと思ひます。

今回ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

